

平成28年9月23日



国土交通省
九州地方整備局宮崎河川国道事務所
宮崎県
国土整備部河川課

記者発表資料

侵食対策による効果・影響の年次評価等について検討を行います

～第15回宮崎海岸侵食対策検討委員会を開催します～

宮崎海岸の侵食対策については、宮崎海岸侵食対策検討委員会、同技術分科会、同効果検証分科会、宮崎市民談義所等における、専門家、市民等の意見を踏まえ対策を進めています（別紙①参照）。

第15回宮崎海岸侵食対策検討委員会では、第5回効果検証分科会（8月30日（火）開催）にて検証を行った「平成26年度に実施した侵食対策の年次評価（案）」や「平成28年度後期以降の調査実施計画（案）」等について検討を行います。

【第15回 宮崎海岸侵食対策検討委員会】

- 日時：平成28年9月30日（金）13：30～15：30
- 場所：宮崎市民プラザ ギャラリー〔宮崎市橘通西1丁目1番2号〕（別紙②参照）
- 内容：侵食対策による効果・影響の年次評価（案）と今後の調査計画
平成28年度実施工事と今後の予定

○会議の公開について

一般の方に公開します。
会場の都合上、先着30名程度の入場とさせていただきます。

【参考①】

過去の宮崎海岸侵食対策検討委員会、技術分科会、効果検証分科会の資料等は、下記宮崎河川国道事務所のホームページをご確認ください。

- ・宮崎海岸侵食対策検討委員会：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/documents/shinsyoku/>
- ・技術分科会：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/documents/gijyutsu/>
- ・効果検証分科会：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/documents/koukakensyou/>

【参考②】

「宮崎海岸の侵食対策」とは？

3つの柱からなるプロジェクトです。これまでに失われた宮崎海岸（宮崎港北端～ツ瀬川河口間）の砂浜を回復・維持するために、①養浜等を実施し、②突堤を整備します。また、砂丘が海岸に面しているため急激な侵食の危険性がある区域（大炊田海岸の一部、住吉海岸の一部）においては、浜崖頂部高の低下を防ぐために、③埋設護崖を整備します。

報道機関の皆様へ

- 議事途中での撮影は、議事進行の妨げにならないようお願いします。
- 議事途中での質問等をご遠慮ください。
なお、会議終了後に取材対応の時間を設けますので、質問等はその際をお願いします。

発表記者クラブ

宮崎県政記者クラブ、宮崎市政記者クラブ

お問合せ先

国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所
代表：0985-24-8221
技術副所長 飯田 茂幸（内線204）
海岸課長 岡村 雄一（内線381）

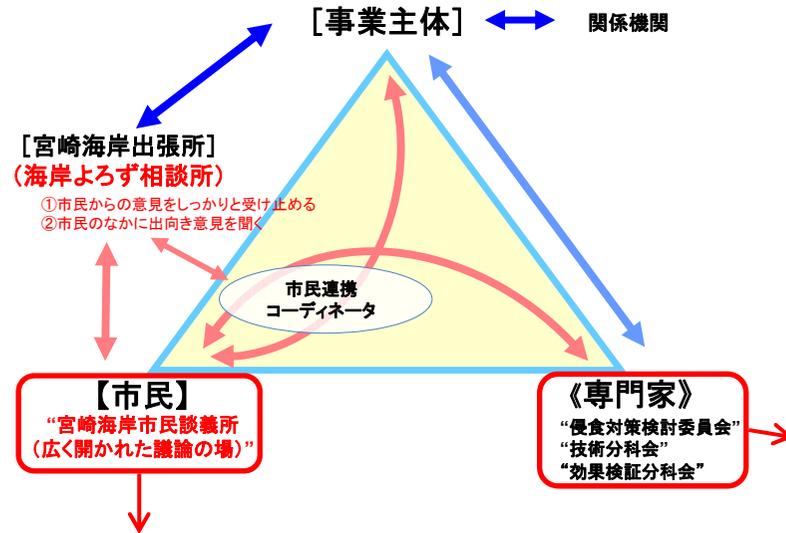
PCホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

宮崎海岸の検討体制

別紙 ①

～委員会、技術分科会、効果検証分科会、市民談義所～

今回開催



宮崎海岸侵食対策検討委員会

- ・今後は、侵食対策の計画段階から、侵食対策の実行・確認(必要に応じて修正)段階へと移行するため、委員会の設置目的を追加・変更して、現委員会を基本としつつ発展させた委員会を継続する。
- ・毎年1回以上開催し、調査結果等から、侵食対策の効果・影響を確認し、侵食対策の継続または修正の必要性等について協議する。

宮崎海岸市民談義所

- ・今後も「広く開かれた議論の場」として継続する。
- ・さらに、興味・関心のある多くの市民が参加できる機会を作っていく。
- ・市民と連携した調査も模索していく。
- ・調査結果の報告、侵食対策実施状況、それらの修正・改善等について談義していく。

技術分科会

- ・委員会の付託により、技術的な検討が必要になった場合に適宜開催し、検討する。

効果検証分科会

- ・委員会の付託により、侵食対策の効果検証について、毎年1回以上開催し、検討する。

第15回宮崎海岸侵食対策検討委員会

日時:平成28年9月30日(金) 13:30~15:30

場所:宮崎市民プラザ ギャラリー
(宮崎市橘通西1丁目1番2号)

